



滋賀県観光キャンペーン「戦国デイスカバリー滋賀・びわ湖」QRコードは、大河ドラマ「豊臣兄弟」の放送開始や、安土城の築城開始から450年といった歴史的な節目を背景に、滋賀県の戦国の魅力を再発見してもらう狙いで展開しています。

戦国を「学ぶもの」ではなく、「体験するもの」としてイベントを開きます。

3月28日に、関西最大級のスキー場「グランスノー奥伊吹」（米原市）で、「雪山×音楽×グルメ×エンタメ」、さらに「戦国」を掛け合わせ、これまで歴史に



は、大河ドラマ「豊臣兄弟」の放送開始や、安土城の築城開始から450年といった歴史的な節目を背景に、滋賀県の戦国の魅力を再発見してもらう狙いで展開しています。

■ グランスノー奥伊吹（米原市）

ゲレンデで触れる戦国



スキーヤーやスノーボーダーでにぎわうゲレンデーいづれも米原市のグランスノー奥伊吹で（奥伊吹観光提供）

触れる機会の少なかった若者層にも、滋賀の魅力を届けられたらと思います。

イベント当日は、戦国トークショーやDJブースによるPRに加え、戦国武将に扮したスキーヤーがゲレンデを滑走するなど、この

ゲレンデで触れる戦国というテーマにした「戦国メシ」をテーマにしたフードコート企画も展開します。

米原駅という県内唯一の新幹線停車駅に近いこの地は、滋賀県が進める県北部振興や2027年のデステイネーションキャンペーンを見据えた重要な拠点でもあります。

このイベントは単なる冬の話づくりでなく、ゲレンデで触れた戦国の世界観が、やがて城跡や史跡、地域そのものを訪ねる旅へつなげていく、そんな循環を生み出せたらと考えています。

滋賀の戦国を知る「入り口」として、グランスノー奥伊吹へ、若者からファミリー、シニアまで幅広い年齢の方にお越しいただけると幸いです。

（びわこビスターズビューロー・北川ゆう子）



ゲレンデでジャンプする人々たち



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】グランスノー奥伊吹へは車の場合、大阪から約100分、京都から約80分、名古屋から約50分。高速道路（名神・北陸道）の各インターチェンジから30分前後。カーナビで「グランスノー奥伊吹」または「奥伊吹スキー場」で検索。電車の場合、JR米原駅またはJR近江長岡駅から、シャトルバスが運行。